

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	792 中学校クラブ遠征参加経費	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	03	中学校費
基本	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	目	02	教育振興費
		細目	637	教育振興経費
行革大綱の重点事項番号		細目	51	中学校クラブ遠征参加経費
担当部課	コード	450100	担当者	澤 昌道
	名称	教育委員会 教育総務課	氏名	連絡先 22 - 9675 (内線) 3813

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内全中学校の部活動に入学している生徒 ※対象件数 12中学校
成果(どうする)	運動部の大会や文化部のコンクール等への参加旅費を負担することで、保護者の負担の軽減及びクラブ活動の推進を図る。
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
H22 事業内容	* 各中学校の部活動において、中体連主催の体育関係の大会や県主催の吹奏楽コンクール等への遠征参加費用の助成を行った。
	* 体育大会参加校: 11校 4,403,000円補助
	* 文化行事参加校: 8校 1,488,269円補助
社会情勢の変化等	平成16年度から助成対象を中体連主催の体育大会及び県主催のコンクールのみとした。

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
(体育)補助対象となる大会への延べ参加学校数		校	目標 35	実績 35	36	36
			目標 36	実績 34		
(文化)補助対象となる大会への延べ参加学校数		校	目標 24	実績 24	25	25
			目標 22	実績 24		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
(体育)補助対象となる遠征参加費に対する補助割合		補助金額/補助対象遠征参加費	%	目標 100	実績 91	目標 100	100
				目標 100	実績 100	目標 100	100
(文化)補助対象となる遠征参加費に対する補助割合		補助金額/補助対象遠征参加費	%	目標 100	実績 100	目標 100	100
				目標 100	実績 100	目標 100	100

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの財源内訳	国庫支出金	5,626	5,892	5,520	5,520
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,626	5,892	5,520	5,520
	事業投入人件費(B)	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720	0.1人 720
	フルコスト(A)+(B)	6,346	6,612	6,240	6,240

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	* 中学校では、部活動の成果を発揮する場として中体連主催の体育大会や、県主催の吹奏楽コンクールがあり、生徒が身につけた力をこれらの大会に必要とし、試すことによりさらに意欲を高めることとなり必要性は高い。
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
効果性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率的	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
改善策	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	* 大会参加費等を助成することにより、保護者の負担が軽減できる。助成の対象となる大会等や人数を制限しているため、生徒の活動を十分に保障しているとは言いがたい。
計画	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
効果性	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
効果性	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
改善策	* 大会地までの最も効率的な交通手段による経費削減により、少しでも多くの大会へ参加できるように次年度に向けて学校側と検討を進めていく。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 * 体育大会参加校: 11校 4,403,000円補助 * 文化行事参加校: 8校 1,488,269円補助

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	伊室春利
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 * 中学校での部活動の成果を発揮する場は必要であり、それへの参加に伴う経費の軽減を図ることは参加意欲の向上となり、継続的に事業の推進は必要である。
現時点における課題、その他	* 現状では、助成の対象となる大会や人数に制限があり、生徒のクラブ活動を十分に保障しているとは言いがたい。他市では、遠征に係る交通費を100%市が補助しているところもある。 * 宿泊費についても、当市では日額5,000円(二日目以降は半額)としているが、市職員の旅費と同様の取扱をしているところもある。 * 他市の状況(名張市...補助対象となる交通費及び宿泊費につき100%補助、津市...補助対象となる交通費及び宿泊費につき100%補助)
課題、その他に対する改善策	* 部活動は、生徒の人格形成や仲間づくり非常に重要な役割を持つため、引き続き支援していく必要がある。
(いつまでに、何を、どうする)	